

2025年(令和7年)8月31日(日曜日)

富士ニュース

笑いで元気に

高校会議所が募集

駄じゃれ、大喜利、川柳

富士宮高校会議所は
第4回富士宮を笑いで
元気に！プロジェクト

として、駄じゃれの「宮D-1グランプリ」と大喜利の「宮O-1グランプリ」、川柳の「宮S-1グランプリ」の三つのコンテストを実施するため、応募を呼び掛けている。

宮D-1グランプリは「人情断の巧い落語家は富士宮の釣り堀と相性がよくて、よく釣って帰るらしいね」とのお題に答える。

宮O-1グランプリのお題は次の二つ。「現在高校生の源頼朝が富士山本宮浅間大社にて流鏑馬祭を見て一言。なんと言った?」「現在高校生の曽我兄弟が歌手デビューしました。曲のタイトルは?」。

宮S-1グランプリは、「富士山」「富士宮」「自由題」の三つのお題から選ぶ。

応募は郵送、持参、メール、公式ラインなどで受け付けている。詳しい内容は公式ウ

ブサイト (<https://fuji-miya-hsc.com>)に掲載している。問い合わせは事務局長の時田定則さん(☎090-15008-15439)まで。締め切りは11月30日(日)。

審査で各賞を選び、賞状と題財符(お宮横丁の富士宮やきそば食券)、富士宮高校会議所が発行した商品券を贈る。表彰式は12月19日(金)午後4時~5時に西町レトロ館で予定。

昨年度の宮ゴールドグランプリ賞作品は、宮D-1グランプリで「人情断の巧い落語家は富士宮の釣り堀と相性がよくて、よく釣って帰るらしいね」とのお題に対する「お客の目に、いつも涙をニジマスからだろう」(富士市の渡辺聡さん)、宮O-1グランプリで「現在高校生の曽我兄弟が歌手デビューしました。曲のタイトルは?」とお題に対する「恋の仇討ちングスタート」(神奈川県横須賀市の須山恵美さん)、宮S-1グランプリでは富士山をお題とした「富士山は、まだ遺産ではない財産だ」(富士市の渡辺聡さん)。